

# 「そのために大切なこと」

小田原市立泉中学校

三年 竹澤 愛莉

社会を明るくする運動、犯罪のない社会にすることについて、私は今まで考えたことがありませんでした。しかし、テレビでは毎日犯罪のニュースが流れ、あまりにも犯罪が多いことに改めて気付かされました。そこで、犯罪のない社会にするため、まず身近な事で考えてみました。この「社会を明るくする運動」について、例えばどんなことがあるだろうと、自分の身の回りのことや今まで体験したことを振り返ってみました。そうすると、いくつか大切にするべきだと思うものがありました。

一つ目は、人を思いやる心です。私は過去に友達と考えがすれ違い、誤解が生まれてしまったことがあります。私は軽い気持ちでし

たことが、相手にとっては嫌なことで傷つけてしまいました。そこから私は、ちゃんこの言動は嫌じゃないかなとか考えてから行動することを心がけています。このように相手のことを思いやって行動できる人が多ければ多いほど、社会は明るくなっていくのではないかと思います。

二つ目は、学校の安心感です。誰だって安心して過ごせる場所がある方が良いと考えると思います。もちろんそれが学校じゃなくてもいいのですが、私のような中学生が変えられるのは学校かなと考えました。学校が安心して過ごせる場所であれば学校生活も楽しくなると思います。そのために私ができることは、禁止されていることをしている人を見つけたら先生に言ったり、本人に注意できる時はするなど、数少ないことしかないです。だけど、環境をすぐには変えられなくても、そういう人達が増えれば、雰囲気は作れます。また、その作った雰囲気からいつか学校が安

心でできる場所になれば、非行のない社会にも繋がってくると思います。

三つ目は、SNS上でのつながりとトラブルです。これは私の話ではないのですが、身の周りでSNSに投稿した写真などが、拡散されてしまい悪く言われることもあったそうです。私はそのようなトラブルに巻き込まれたことはありませんが、これから高校や大学、社会人になると今よりもっと色々な人とのSNS上での関わりが増えます。そのため、これからは本当に送っているものか自分で確かめたり、誰かが言っていた情報や写真などは送っていいか許可をとったりなど、誰かを傷つけることがないように気を付けようと思いましたが。さらに、SNSで一度上げたものは一生残るということを、頭に置きながら使用していききたいです。

四つ目は、「ありがとう」と言うことです。今まで三つの具体例を書きましたが、やっぱりまず初めに一番大切なのはこの言葉だと思います。

います。「ありがとう」は言った側も言われた側も気分が良くなる、魔法のような言葉です。また、「ありがとう」が聞こえたということ、誰かが誰かのために良い事をしたことに繋がります。それが沢山あれば社会は自然と明るくなります。

今回社会を明るくする運動について書くと同時に今までの自分を振り返り、できていた部分もあればできていない部分もあるなど思いました。できていた所はこれからも続けて、できていなかった所はこれを機に直していきます。

この文章を書いた私も、読んでくれた人も、ここに書いたような行動ができる人になり、社会を明るくしていきたいなと思いました。